

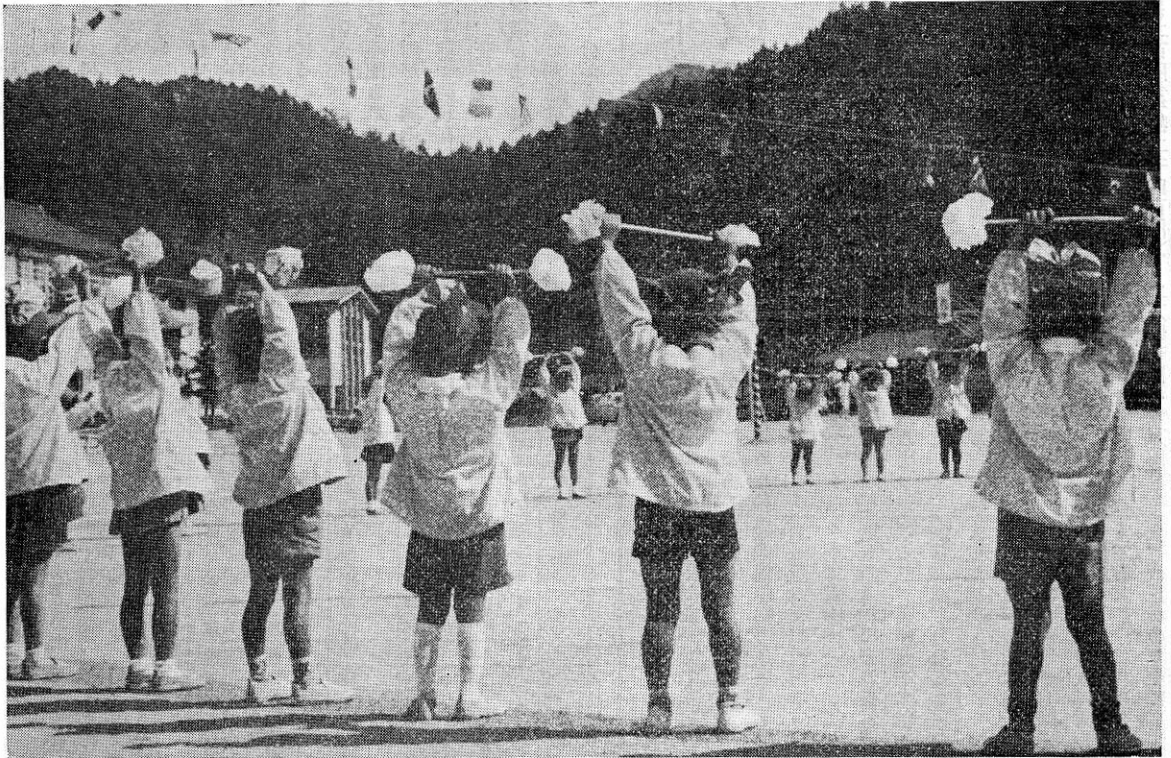
季節のはなし  
 10月のことを「神無月」といいます。10月は国中の神様が出雲の大社に集まり留守になるところから呼ばれたともいわれています。

# 白川東報

昭和41年10月15日発行

第95号

発行  
 岐阜県加茂郡  
 東白川村公民館  
 印刷  
 今井印刷所



## 会 議 成人病検査費ほか 三百九十二万円を追加

東白川村議会第三回定例会  
 会計で百九十七万五千円、  
 追加、減額差引)がそれ  
 川村一般会計並びに国民健  
 康保険会計補正予算案と任  
 期満了にともなう教育委員  
 の任命についての同意につ  
 き慎重に審議された結果い  
 づれも原案どおり可決され  
 ました。

こんどの補正予算は一般

十六万円

▽農業法人設立費補助  
 七万円  
 △準要保護児童生徒就学援  
 助費  
 九十万円  
 (国保会計)

▽成人病検査関係費  
 百十六万円

なお教育委員田口賢一氏  
 の任期満了にともなう後任  
 として田口新太郎氏(大明  
 神)の任命につき同意され  
 ました。

## 働きざかりを健康に

働きざかりの年代に多い 東白川病院榊原、藤井、奥つてきているといえます。一般的に「成人病」と呼ばれる脳溢血、脳卒中、がんなどの早期発見、早期治療を目的とした、村の「成人病予防検診」が九月上、中旬、東白川病院において実施されました

村では昭和三十  
 五年に成人  
 病予防対策をとりあげてか  
 ら六年間検診を続けていま  
 すが、今年からその検診  
 内容を大幅に充実し、国立  
 岐阜大学医学部附属病院、  
 岐阜市民病院の協力を得て

検診は各部落ごとに四日  
 間にわたり行なわれ、総受  
 診者は八百六十二人に達し  
 予防検診の認識がより深ま

尿で一人の所  
 要時間は約二  
 時間を要し、  
 本格的な人間  
 ドックとしての成果が期待  
 されています。

「健康手帳」は、今年始  
 めて作成したもので、本人  
 の健康状態、あるいは検診  
 の結果が書かれます。

働きざかりを健康に  
 働きざかりの年代に多い 東白川病院榊原、藤井、奥つてきているといえます。一般的に「成人病」と呼ばれる脳溢血、脳卒中、がんなどの早期発見、早期治療を目的とした、村の「成人病予防検診」が九月上、中旬、東白川病院において実施されました

# 前回を上廻る好成績

## 関心の深さを示した知事選

岐阜県知事の懸念をくつがえし、その任期満了による選挙率率は九十一%と前回は九十七%に上り、村内有権者の選挙に対する関心の高さを物語っています。本村では村内五か所の投票所が午前七時から投票が開始されましたが、当日はあいにくの台風来襲とあつて朝から小雨が降り続き出足が心配されましたが、立候補した三人によつて選挙運動が、一見静かな選挙戦で一般の関心も薄いのではないかと

で行なわれ、本村閣係分の開票結果と投票状況は次のとおりです。

### 投票状況

投票区	組	有権者	投票者	棄権者	投票率	順位
神	大口	53	52	1	98.11%	1
	平	473	445	28	94.08	5
	下親田	120	103	17	85.83	18
	上親田	143	131	12	91.61	10
	中通	39	35	4	89.74	7
土	西	108	98	10	90.74	12
	計	936	864	72	92.31	
神	中	66	61	5	92.42	11
	神付	111	105	6	94.59	3
	中	87	80	7	91.95	9
	加	61	55	6	90.16	13
付	計	325	301	24	92.62	
	曲	89	80	9	89.89	15
	日向	209	193	16	92.34	7
越原下	計	272	241	31	88.60	17
	計	570	514	56	90.18	
越原上	柘	88	81	7	92.05	8
	黒	135	128	7	94.81	2
	大明	247	209	38	84.62	19
五	計	470	418	52	88.94	
	柏	201	190	11	94.53	4
	宮	100	93	7	93.00	6
	大	138	115	23	83.33	20
加	下	60	54	6	90.00	14
	久	46	41	5	89.13	16
	計	545	493	52	90.46	
東白川村	2,846	2,590	256	91.00		
加茂郡	39,932	34,985	4,947	87.61		
岐阜県	1,062,937	860,985	201,952	81.00		

**開票結果**  
 投票総数 二五九〇票  
 有効投票 二五七二票  
 無効投票 一八票  
 一八票  
 (有効投票の内訳)  
 松野幸泰 一五九三票  
 平野三郎 七七三票  
 島田貞男 二〇七票

# 国民年金法大幅に改正

## 保険料の改正など

こんどの国民年金法の改正は、昭和三十六年に拠出の年金額が始まつてから、最初の五年目の財政再計算期にあつており、また、人口構成の老齢化といふことがますますすすみ、非常に周困の状況がかわつてきました。さらに老後の所得保障の問題に人々の深い関心が高まつてきたこと、厚

い、昭和四十二年一月分からは、改正後の年金額で支給になりました。

免除をうけた期間について  
 一月につき二百円の三分の一(年額八百円)をもつて計算するものと改められました。

(1)老齢年金  
 二万四千円を六万円  
 四十年拠出の場合  
 二万二千円を九万六千円  
 二十五免除の場合  
 八千七百五十円を二万円

一級加算額  
 六千円を一万二千元

(3)母子年金  
 最低保障額  
 一万九千二百円を五万五千元

以上のようにそれぞれ引上げられ、昭和四十二年一月から実施されることになりました。

障害範囲の拡大  
 今までの、障害年金の支給対象となる「内部障害」の範囲は、結核、精神病に限られていましたが、こんどの改正で昭和四十一年十二月一日から、高血圧症などすべての障害が加えられたことにより、従来の外部障害と併せて、今後はどんな障害でも日常生活が満足にできないような人には、障害年金が支給されることになりました。

# すべいの人が安全に!

十月は「伸びゆく県民運動」事故をなくする運動強調月間である。秋の全国交通安全運動が実施されていきます。

この運動は、人命尊重と交通安全の徹底をはかり、とくに歩行者の交通事故を絶滅するために、すべての歩行者、運転者、その他のあらゆる道路交通関係者に



交通安全思想を普及徹底させ、正しい交通ルールの実践を習慣づけることにも、あわせて道路交通環境の整備改善を促進することが目的となっています。

安全運動は「歩行者の安全通行の確保」の確保、交通暴力の追放、この二つを目標に県下各地はもろろん、わたくしたちの村でも運動をもちあ

●保険料の改正  
 保険料は前のような給付水準の引上げにともない、保険財政の均衡を保つために、いままでの三十五歳未満満百円、三十五歳以上百五十円の保険料から次のように段階的に引上げることになりました。

昭和四十二年一月から  
 三十五歳未満 二百円  
 三十五歳以上二百五十円  
 昭和四十四年一月から  
 三十五歳未満二百五十円  
 三十五歳以上 三百円  
 (住民係)

### 日向の桂川さん

#### 身障者更生相談員に

身体障害者が社会の荒波に負けないよう指導したりまた、それらの更正援助を行なうための「身体障害者更生相談員」に、越原日向の桂川伊三さんが県から委嘱されました。この相談員

は県下の各市町村にあつて管内の身体障害者の実態を把握して、身体障害者手帳を所持させるよう指導したり、更生医療の指導を行なつて障害の軽減、補装具の給付手続き、バス運賃割引証の交付等の業務を行なつています。

なお、桂川さんは岐阜県身障者福祉協会東白川分会長でもあります。

### おめでと。

#### 越小「花だん」が入賞

越原小学校は、中日新聞社主催で行なわれていた「フラワーボーコンクール」に参加していましたが、さきに審査が行なわれた結果「優良賞」を受賞しました。また「声の花だより」も入賞しています。

### 趣味



秋はスポーツのシーズンでもあり、また芸術のシーズンでもあります。体育関係のいろいろな行事とならんで、各地で展覧会等の催しものが開かれ、どこかしこ芸術づいてくるようです。

### 水彩画

#### 高島吾一校長

さて、今月はそんな秋にちなんで「水彩画」の、越原小学校長、高島吾一さんをお尋ねしました。先生がこの村へ赴任されてまだ一年半、ようやく村の水

になじまれたというところでしょうか。越原小学校は花だんコンクール入賞の実績が示すとおり、今が花ざかり話をうかがつたのは立派な応接室で、その中に一枚、二枚、何枚かの船や港の絵が飾られ、その雰囲気を引きか

せているうちに、今あらためて「趣味」としてとりあげて説明を聞くのが失礼だったかなと思われ

### 所得割の負担割合は 毎年減つていきます



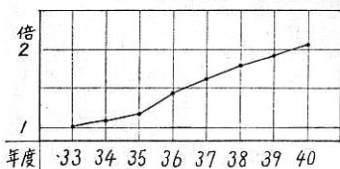
### 税の目(4)

村民所得がどのように伸びたかは、前にお話ししました。(本紙九十三号参照)

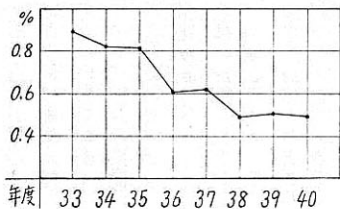
しかし、所得がどのように伸びても、それに伴つて諸物価が同じように高くなれば、これは、名目だけの伸びで、実質的な所得はないのですから、十年間に二倍以上となつた所得も

実際に生活をうるおす部分張率を現わしたものです。

### 村民所得の伸び率



### 村民所得中に占める村民税所得割の割合



村民所得を伸ばすためのいろいろな施策が、かけ声だけでなく、確実に実現されたことが、この表でよくわかります。

(別表二)は、村民所得の中に占める村民税所得割の割合を示したものです。毎年所得が伸びるに従つて所得割の負担割合がだんだん低くなり、昭和四十年では、所得百円につき五十二銭で、昭和三十三年の半分近くになっていきます。所得と共に税額も伸びれば負担割合も平行線をたどるわけですが、何回かにわたる減税政策によつて、このような結果になつたのです。



山間部で船や、港の絵を描かれるのは不自由なことかも知れませんが、それでもカラー写真のスナップを材料に一生懸命描かれた絵は観る人の心をいやしてくれ

一般的に絵がうまい、絵の先生などと呼ばれるほどあつて技術的に進歩させて

初出品が入選、それ以来のカラー写真のスナップを材料に一生懸命描かれた絵は観る人の心をいやしてくれ

# みんながしあわせに

## 「赤い羽根募金」はじまる

だれもが、おたがいの幸福を願っているものです。わたくしたちの住んでいる社会には、身寄りのない子どもや、おとしより、からだの不自由な人など恵まれない人々が沢山います。

これらの人々が少しでも幸福になれるよう、社会保障制度の充実をねがいながら、みんなでもりたてようとする自主的運動が、「赤い羽根運動」なのです。

### ●赤い羽根募金はこんなところに

みなさんからの募金は、岐阜県共同募金会で計画的に、つぎのようなところへ配分されます。

#### ①保育園

両親にかわつて子どもをあずかり、集団保育をして、仕事で忙しい両親をたすけています。岐阜県には保育園が三百五十四ヶ所あり、二万九千六百二十九名の子どもが、集団保育のなかですくすくと成長しています。

#### ②養護施設

保護者のない児童、虐待されている児童、そのほか環境上養護を要する児童を入所させて、これ

と呼ばれています。岐阜県には十七ヶ所の老人ホームがあり、孤独な老人たち九百人が、安楽な老後を送っています。

#### ④母子寮

母子寮とは、夫のない女子または、これと同じような事情にある女子で養育すべき子どもをかかえている者を、保護入所させるところです。岐阜



みんながしあわせに！  
10月1日から 共同募金

を養護するところです。岐阜県には九ヶ所の養護施設があつて、現在五百三十七名の恵まれない児童がいて、この施設から学校へ通っている児童がたくさんいます。

#### ③老人ホーム

前は養老院といつていましたが、いまは良い施設となつて「老人ホーム

三ヶ所に百名が収容されていますが、まだまだ入所できない児童が多くいますので、施設の増設が計画されています。

#### ⑥虚弱児施設

身体の虚弱な児童に適性な環境を与えて、その健康増進をはかることです。岐阜県には、日本赤十字社で経営する施設が一ヶ所あり、三十一人の児童が健康な身体をつくるために、一生懸命努力しています。

#### ⑦社会福祉協議会

わたくしたちのまわりには、自分だけではどうにもならない社会福祉の問題が多くあり、これを解決するために福祉活動をする団体です。これは各市町村に一つづつあつて、子ども会を助長し健全化をはかり、保育園施設拡充援助のような児童福祉問題、老人クラブ育成のための老人福祉問題、未亡人会活動援助等の母子福祉問題、その他いろいろな問題等に対処して地道に活動しています。

### 民俗資料など展示

#### 「郷土展」おわる

東白川村青年団神土分団主催の「郷土展」が、神田神社秋祭りまでにぎあう九月二十八日、二十九日の両日東白川公民館において盛大に開催されました。これは

「文化展」にかわるものと見て計画、村のあちこちで眠っている明治時代、またそれ以前の民俗資料、郷土史資料、古美術等を一ヶ



### 放談

味覚の秋……食慾の秋……人間にとつて毎日の食事は生命の源泉であり、健康の上にも一ばん大切なことはいうまでもないが、秋はなんといつても、食生活のたのしい季節であり、夏場のバテた体力を快復させるよい時期でもある。

#### ○

ところが、この食生活における栄養改善の問題は、食事情の悪かつた一昔前よりは、なかなか真剣に考えられてきたが、物が豊かでなんでも手に入る今日では美味いもの、高価なものもすぐに栄養とかカロリーにおきかえられ、食生活への関心がうすれている。

#### ○

とくに最近の傾向では、衣服の面や、住生活などには、異常な関心や興味をもち、見栄も加わつて、少々のお出費も惜しまないが、食事は、表面にでない家庭内問題であるだけに、家計

のしわよせが、この食生活にむけられることが多い。

#### ○

型の上では、ガスや電気によつて台所の改善がすすみ、能率的な工夫がなされてきたが、かんじんの栄養面では、依然としていきあたりばつたりのことが多いように思う。とくに量よりも質の問題においても、いま少しの科学的な研究が必要ではなからうか。

#### ○

しかも、この大切な食生活の面で、都会では栄養過多と運動不足による肥満型が増えているのに反し、山村では、過労と栄養のアンバランスによるいろいろな病気が増し、いわゆる「農夫症」が多くなつているとき、この問題は、現代医学以前のことといわなければならぬ。

#### ○

ともあれ「明るい健康な村づくり」にとりくみ一連の施策に効果を収めている本村として、この食生活の問題は、健康増進をはかる上での村民自らの重要な課題として、新しい角度から真剣に考えてみたい。